

いつも一緒 富山のペットたち

昔と違い、ペットが室内で飼われる機会が増えたことで、以前は気付きにくかった事に飼主さんが気付かれるケースが増えています。

その一つに口のおい、口臭があります。今回は犬と猫の口臭について紹介したいと思います。



人間は、口臭の80%以上が口の中から発生しています。同じように、ペットも口の中に原因があることが多いです。

3歳以上の犬や猫の約80%は歯周病だと言われています。歯周病とは、歯垢中の細菌により起きる炎症反応で、歯肉炎と歯周炎があります。歯肉炎が進んで歯周炎になると、歯の根元から膿が出るため口臭がよりひどくなります。

歯周病の原因は、食事の内容やストレス、長寿などと言われています。一般的には、歯垢や歯石がたかさん付くことと歯周病の発生率が高くなるようです。

口の中で長期にわたって細菌

たかはし動物病院長
(富山市豊若町)

高橋 明寿

犬・猫の口臭

病気のサインの可能性

の感染が続いていると、細菌が歯肉から血管の中に入り込み、血液によって全身に運ばれていきます。運ばれた細菌は、脳、腎臓、心臓、肺などの病気の原因となります。

このほか、脚を使って口をかきよなら、口の中の異物が口臭の原因になっていることもあります。骨や木のくすなどが歯と歯の隙間に入り込んでいたり、口の中に刺さっていたりすることが多いようです。

また、口内炎の場合も、口をかきよさをし、口臭が

と、食欲が落ち、嘔吐や下痢、脱水などの症状が表れます。腎臓の機能の低下でアンモニアが唾液中に増え、アンモニア臭がします。脱水がひどければ、口の内も乾燥してしまい、唾液による自浄作用が働かなくなり、口臭がよりひどくなります。糖尿病は、甘い果実のよう

中の粘膜、のどなどにできるもので、定期的に口を大きく開けて家庭でチェックするとよいでしょう。腫瘍の口臭以外の症状には、物を食べにくそうにする、よだれが出る、出血があります。悪性のものであるので、しこりを見つけたら、すぐに病院で診てもらいましょう。

腎臓がきちんと働かなくなる

な口臭がします。これら以外に、嘔吐が口臭を引き起こしている場合があります。嘔吐は、腐った食べ物や毒物、毒素、草、木、ゴミ、胃や肝臓、腸や膵臓がダメージを受けて起こります。

院で詳しく調べてもらいましょう。 「いつも一緒 富山のペットたち」は、毎月第1木曜日に掲載します。



歯垢や歯石が付着して、歯の表面が茶色くなった犬



ペットの口の中をチェックするときは、口を大きく開けさせて行おう

北日本新聞
2011年(平成23年)6月2日